

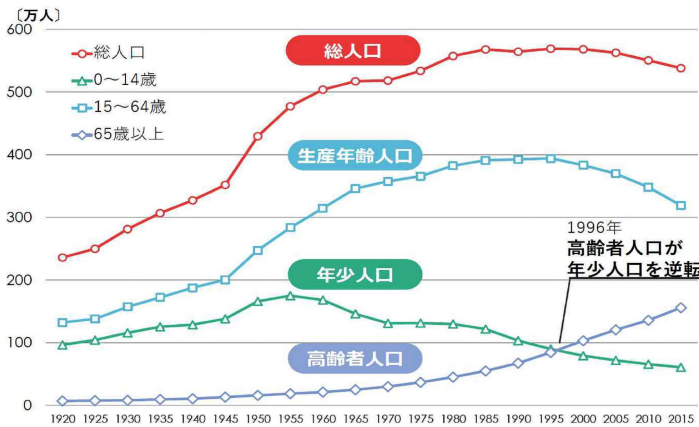
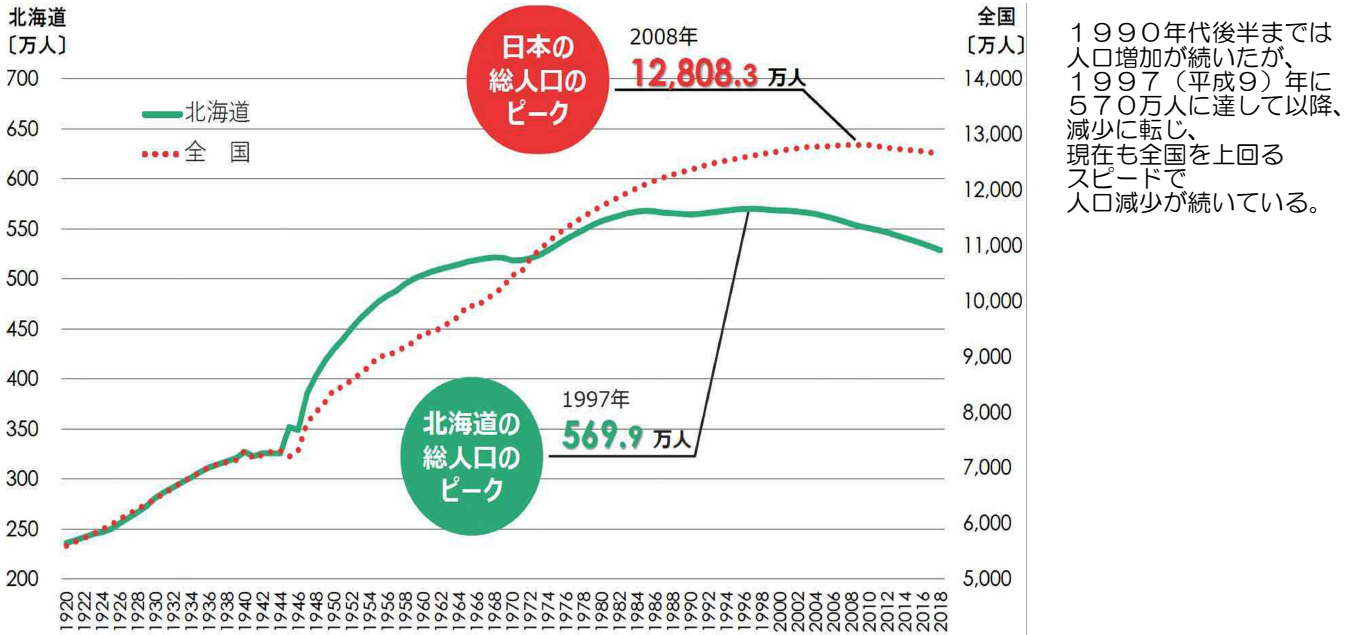
# 【参考資料】「スポーツ参画人口減少」に関する現状について

## 1 国の第3期スポーツ基本計画における関係部分抜粋（様々な社会状況の変化から）

日本の総人口は平成20年をピークに減少局面に入って10数年が経過し、いよいよ小学生児童数に加え、中学生生徒数の減少が加速化するなど深刻な少子化が進行している。  
 また、この人口の減少傾向は、都市部に比べ、地方においてより加速しており、高齢化も更に進むことが見込まれている。  
 これらは、スポーツに参画する者やそれを支える担い手の不足、学校部活動や地域におけるスポーツ・運動環境の維持の困難さにつながり、地域間格差の拡大にも大きな影響を与えていると考えられる。  
 このため、あらゆる世代のスポーツ機会の確保が急務であり、スポーツを活用した健康増進や地方創生の取組にも大きな期待が集まっている。

## 2 北海道の人口について ～北海道人口ビジョン（2020（令和2）年3月策定）から抜粋～

### (1) 北海道の総人口



年少人口（15歳未満）は、1950年代まで増加を続けた後、減少に転じ、1970年代の第2次ベビーブームにより一時横ばいの時期があったが、1980年代以降は減少が続き、1990年代後半には、高齢者人口を下回った。  
 （年齢3区分別人口割合の推移）

	1920年	1970年	1990年	2015年	
年少人口（0～14歳）	全国	36.5	24.0	18.2	12.6
	北海道	40.9	25.3	18.4	11.4
生産年齢人口（15～64歳）	全国	58.3	68.9	69.7	60.7
	北海道	56.1	69.0	69.7	59.6
高齢者人口（65歳以上）	全国	5.3	7.1	12.1	26.6
	北海道	3.0	5.8	12.0	29.1

### (2) 将来人口の推計

北海道の人口は2015（平成27）年の約538万人から、2040（令和22）年には約428万人、2060年には約320万人にまで減少すると見込まれる。

